

— MCFAJ CLUBMAN ROADRACE Rd. 4 筑波 —

(Text: S.Tomimoto Photo: H.Kawano)



— team OZEKI が全勝で 2019 年 F1/F2 クラスを制す —

レースレポート

9月29日 MCFAJ CLUBMAN ROAD RACE 最終戦が筑波サーキットで開催された。

真夏の暑さは過ぎ去ったが気温も湿度も高く、全体的にタイムはあまり伸びない中でチャンピオンに王手を掛ける No.7 teamOZEKI がポールポジションを獲得。

決勝レースではレイクス SUWA が抜群のスタートを決めたが1コーナーで teamOZEKI がトップを奪い返しそのまま独走展開に持ち込む。Team 赤蜻蛉はスタートでホイールスピンさせ出遅れてしまい、レイクス SUWA を交わして2位に上がった時にはトップと大きく離れてしまっていた。そのまま teamOZEKI がトップチェッカーを受け、ドライバー大関はパッセンジャーからドライバーに転向し初の、パッセンジャー富本は自身初のチャンピオンを獲得した。Team 赤蜻蛉は2位でフィニッシュ。ランキングも2位、レイクス SUWA が3位、前戦に続いて終始バトルを展開した No.6 ヴァンダレーシングアツギと No.97 Port Douglas Racing はヴァンダレーシングアツギに軍配が上がった。ニューマシンの No.25 ヴァンダレーシングアツギは予選でエンジントラブルが発生し残念ながら決勝レースはリタイヤで今シーズンを終えることになった。

